

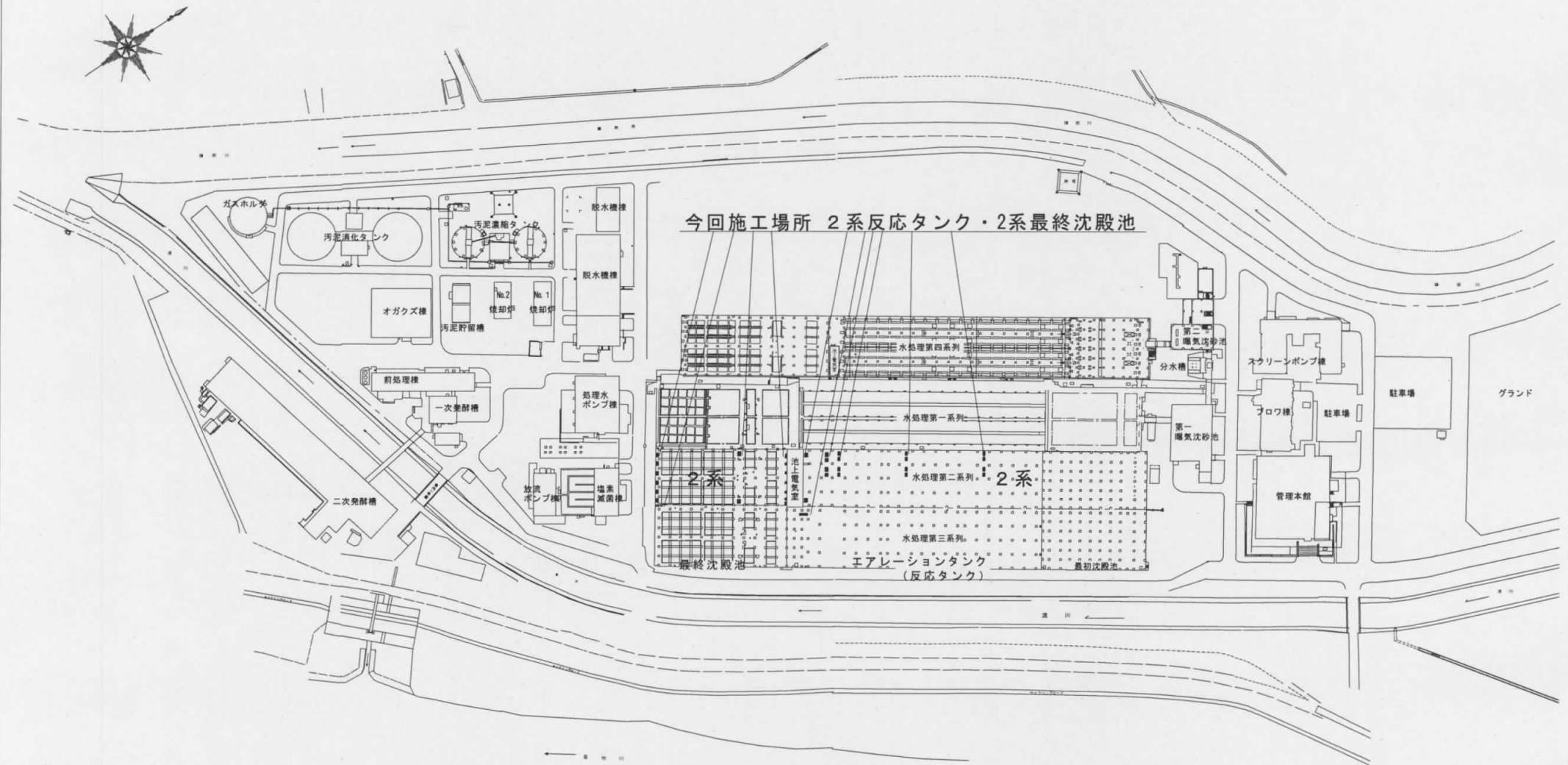
令和5年度

甲府市浄化センター2-1反応タンクほか覆蓋

更新工事

番号	図面名	番号	図面名
1	配置平面図		
2	特記仕様書		
3	2系反応タンク覆蓋詳細図 (1)		
4	2系反応タンク覆蓋詳細図 (2)		
5	2系反応タンク覆蓋詳細図 (3)		
6	2系最終沈殿池覆蓋詳細図 (1)		
7	2系最終沈殿池覆蓋詳細図 (2)		

甲府市上下水道局



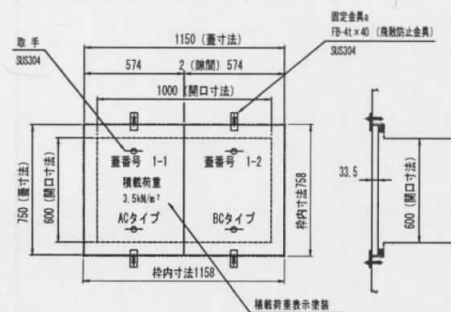
甲府市浄化センター配置平面図

工事名	甲府市浄化センター2-1反応タンクほか覆蓋更新工事	図面名	甲府市浄化センター配置平面図
縮尺	甲府市上下水道局 工務部 下水道管理室 浄化センター	縮尺	S=NON 図番 1

特記仕様書

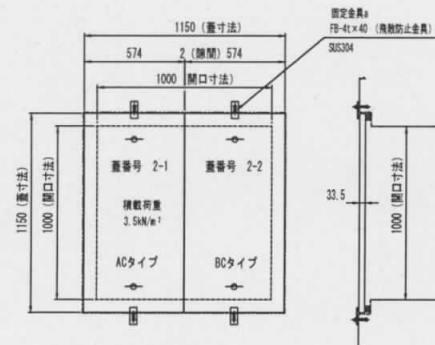
工 事 名	甲府市浄化センター2-1反応タンクほか補修更新工事	1 3 解体・ハツリ等の音が発生する作業については、近隣住民の迷惑にならないように行うこと。	工事写真の取扱い
工 事 場 所	山梨県甲府市大津町1 6 4 5番地（甲府市浄化センター）	1 4 製作又は施工に必要な図面（施工図・製作図等）は、請負者において作成し、監督員の承認を受けること。	・電子媒体により納品すること。・納品時には、正副1部ずつを納品すること。
工 事 範 囲	設計図・工事契約書に依る。	1 5 工事完成後、完成図書を請負者の負担で作成し、速やかに提出すること。	・使用する媒体は、CD-Rとする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、DVD-Rの使用も可とする。
建 物 構 造	R C造 1階建（R1階・1階）	1 6 工事完成前に使用する洗浄水等の水道料金は請負者の負担とする。	・電子媒体に対して必ずウイルスチェックを行うこと。
		1 7 はつり作業は、施設等に十分注意すること。万一破損した場合は、請負者の負担で原状復帰すること。	（ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように最新のデータに更新したものを利用すること。
一 般 事 項		1 8 作業については、処理場運転に支障が出ないよう処理場関係者との調整を精密に図ること。	・工事写真のデーター（施工前・施工中等）は必ず頻繁にバックアップしデーターの喪失をしない。また、喪失したデーターは必ず復元しすべて提出するものとする。それにかかる費用は請負者負担とする。
1 本工事は全て、図面・本仕様書及び共通仕様書（日本下水道事業団・国土交通大臣官房庁業務部）に基づき（機械設備工事・下水道施設標準図土木建築建築設備）・同標準図最新版）諸官庁関係法に準拠し施工する。		1 9 コンクリート新り工事を行う場合はハツリ粉塵散放し措置、対策を必ず行うこと。	・電子媒体には以下の情報を明記すること。
2 本工事に於いて、図面・本仕様書に記載が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理上当然必要なものは、係員と協議の上誠実に施工するものとする。ただし、その費用は請負者の負担とする。		2 0 既設RPP撤去後の開口部には落下防止用の安全対策や養生等必ず行うこと。	A. 工事名称 F. 作成年月
3 本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は十分な理解の上、工事着手に先立ち標準仕様書に基づき工程表、施工計画書、材料承諾願図、施工図等を出し係員の承認を得ること。		2 1 工事終了後の清掃は必ず実施し、監督員及び施設運転責任者に確認を得ること。	B. 工事場所 G. 何枚目／総枚数
4 本工事において、契約後10日以内にコリンズ登録を行うこと。		2 2 別紙建築製作図・設置図の明記に必ず寸法はあくまでも参考値とする。	C. 契約番号 H. ウィルスチェックに関する情報
5 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは滞滞なく行うこと。ただし、その費用は請負者の負担とする。		請負者は事前に製作図を作成し、必ず監督員の承認を得ること。	D. 発注者担当部署名称 I. CD-Rフォーマット形式
6 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。		2 3 本工事において、受注者は法定外の労働保険に付さなければならない。	E. 請負者名称 J. 電子媒体の内容の原本性を証明するために、直接署名又は捺印を行う。
書類内容、部数等詳細は監督員の指示に従うこと。			・電子納品される写真データは、PDF形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様な確認ができるものとする。
7 本工事請負者は工事完成引き渡し後も施工方法、機器類の不良等起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。なお、その費用は請負者の負担とする。		暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除	・写真データは、工程種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名フォルダ名を付して整理すること。
8 工事写真・施工図・竣工図は電子納品とする。（但し完成図書の写真はダイジェスト版を添付のこと）また、工事完成後、完成図書を請負者負担で作成し、速やかに提出すること。		1 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合はその旨を直ちに発注者に報告すると共に、所轄の警察署に届け出を行い、捜査に必要な協力を行うこと。	・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査することも可能とし、その範囲は受発注者との協議による。
		2 この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。	・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。
		3 請負者が（1）の報告等を怠った場合は、「甲府市建設工事等請負契約に係る指名停止等措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うこととする。	・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。
導 引 部 位	準 拠 規 格		・ここに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。
1 法令・政令・規則等の定め及び指導	建築基準法	下請け施工体系図の作成及び提出	
2 質問回答書	労働安全衛生法	「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工程の如何にかかわらず、端末の下請負者まで反映させた、「下請施工体系図」を作成し	塗装仕様
3 特記仕様書	日本工業規格	通達・訓導が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。	養生枠
4 設計図書	下水道法	また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。なお、提出は打合簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとしこの場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。	表地調整（3種ケレン）
工 事 項 目	下水道維持管理指針（日本下水道協会）		ジンクリッチプライマー 1回塗 + エポキシ樹脂塗料（下・中・上） 3回塗
1 覆蓋（FFU）更新工事	その他関係法令・条例及び規則		
2 既設RPP撤去工事			
		再生資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出（請負金額100万円以上の工事）	
		請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（EXCEL 様式）」のバージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。	
準拠仕様書		（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサに対応していないため不可）	
本特記仕様書に特に定めない事項については、次の仕様書等を準拠し監督員と協議の上その指示による。		工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。	
1 建築工事/建築機械設備工事/機械設備工事一般仕様書：日本下水道事業団		※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。	
2 機械設備標準仕様書：日本下水道事業団		URL <a href="http://www.mlit.go.jp/eogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101oradastop.htm">http://www.mlit.go.jp/eogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101oradastop.htm</a>	
3 公共建築工事標準仕様書（建築工事標準仕様書・機械設備工事標準仕様書）：国土交通省大臣官房官庁業務部		受注者は、法令等に基づき再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に	
4 建築・建築設備工事必須・機械設備工事必須（施工編）：日本下水道事業団		かかげなければならない。	
5 下水道施設標準図（詳細）土木建築建築設備編、日本下水道事業団			
6 その他関係規格及び技術基準			
特 記 事 項			
1 処理場運営に支障が出ないよう、施設関係者等との調整を精密に図ること。		工事カルテに関する特記仕様（請負金額500万円以上の工事）	
2 工事着手及び工程管理については、別途監督員及び施設関係者と十分に調整を図ること。		受注者は、工事実績情報サービス（CORINS）入力システム（（財）日本建設情報総合センター）に基づき、受注・変更・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認依頼」を作成し、監督員の確認（構図印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入）を受けたうえ、（財）日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、	
3 本工事の工期は令和6年3月4日1時とする。施工途中に検査員による随時検査の対応も行うこととする。		「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。	
4 工事施工に必要な官公庁その他への手続は、請負者の負担において遅滞なく早急に行うこと。		①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）とする。	
5 本図中に無い工事内容に於いては、支障無きよう工事を行うこと。		②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。	
6 敷地内外の工作物等には十分注意すること。 万一破損した場合は、請負者の負担で原状復帰すること。		③業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）に変更データを登録申請しなければならない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。	
7 仮設物を設置するときは、各請負業者と打合せのうえ、処理場運転等に支障なく安全な場所に設置すること。		④訂正時は、適宜登録履歴に登録申請をしなければならない。	
8 請負者は、工事期間中近隣住民に迷惑を掛けてはならない。また、重車等使用による道路の破損、			
9 公害防止条例による違反、及び火災の原因になるような事項に対しては、事前に対策を講じること。			
10 工事の進捗につれて隠れる部分及び監督員の指示する場所については、その都度工事の進捗状況をカラー写真で撮影すること。			
1 1 仮設に使用する電気・水道等の料金については、請負者の負担とする。			
1 2 建設機械等は低騒音型かつ排ガス対策型建設機械を使用すること。			

特 記 事 項	1	甲府市上下水道局 工務部 下水道管理室 浄化センター				施 尺 S-NON	工事名称	甲府市浄化センター2-1反応タンクほか覆蓋更新工事	NO. 2	
	2						設計年月日	図面名称		特記仕様書
	3									
	4									



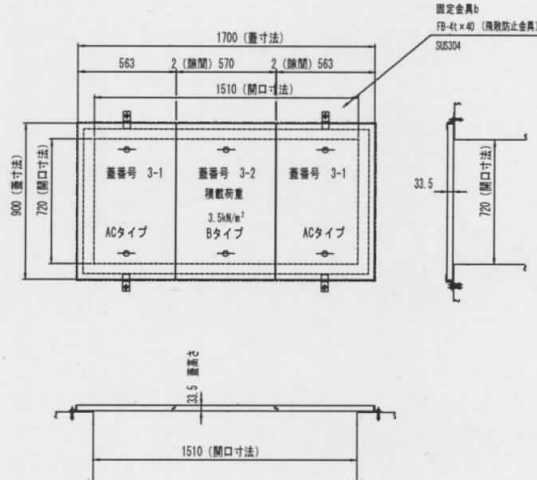
- 1-1 ACタイプ 574×750×33.5 12枚  
1-2 BCタイプ 574×750×33.5 12枚

蓋番号 1 蓋割付図 S=1/15



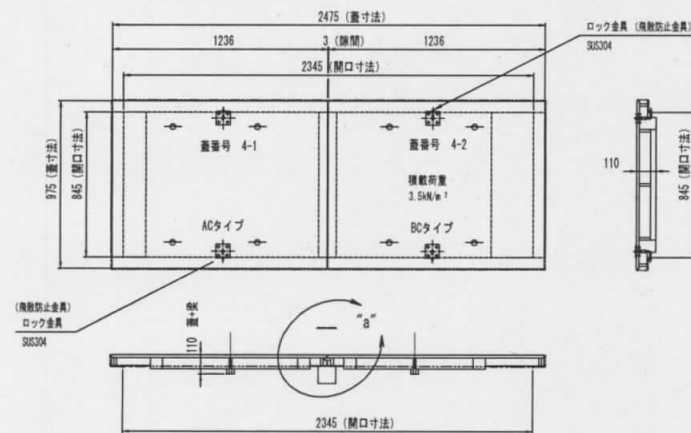
- 2-1 ACタイプ 574×1150×33.5 12枚  
2-2 BCタイプ 574×1150×33.5 12枚

蓋番号 2 蓋割付図 S=1/15



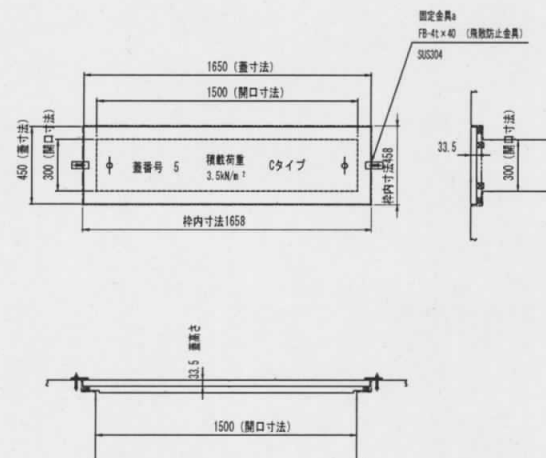
- 3-1 ACタイプ 563×900×33.5 8枚  
3-2 Bタイプ 570×900×33.5 4枚

蓋番号 3 蓋割付図 S=1/15



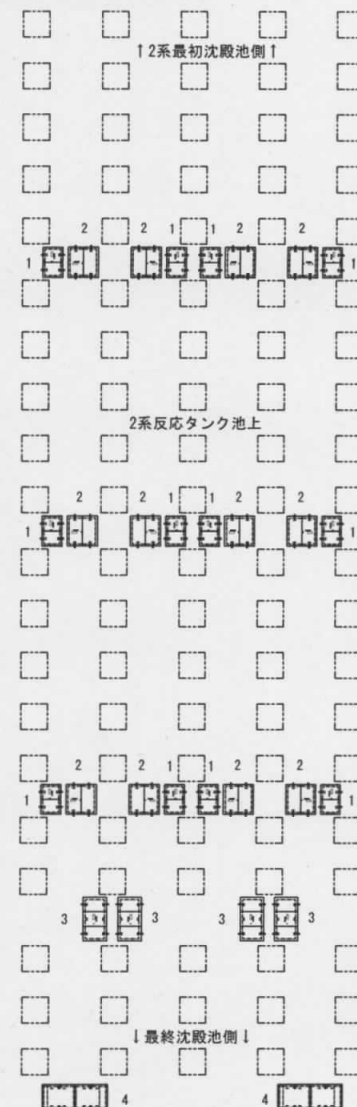
- 4-1 ACタイプ 1236×975×110 2枚  
4-2 BCタイプ 1236×975×110 2枚

蓋番号 4 蓋割付図 S=1/15



- 5 Cタイプ 1650×450×33.5 1枚

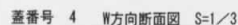
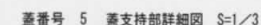
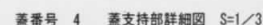
蓋番号 5 蓋割付図 S=1/15



2系池上電気室

2系反応タンク蓋設置図 (配置)  
KEY PLAN S=1/100

甲府市浄化センター2-1反応タンクほか環境更新工事	2系反応タンク蓋詳細図 (1)	S=1/15 S=1/100
甲府市上下水道局 工務部 下水道管理室 浄化センター		3



製作数：4ヶ所

2系反応タンク 蓋寸法及び数量表

番 号	記 号	開口寸法	設置箇所数	長さ (L)	巾 (W)	高さ (H)	数量 (枚)	材 質	選 型 類
1	1-1	600×1000	12	750	574	33.5	12×1=12	FFU59M	ACタイプ
	1-2			750	574	33.5	12×1=12	FFU59M	BCタイプ
2	2-1	1000×1000	12	1150	574	33.5	12×1=12	FFU59M	ACタイプ
	2-2			1150	574	33.5	12×1=12	FFU59M	BCタイプ
3	3-1	720×1510	4	900	563	33.5	4×2= 8	FFU59M	ACタイプ
	3-2			900	570	33.5	4×1= 4	FFU59M	Bタイプ
4	4-1, 4-2	845×2345	2	975	1236	110.0	2×2= 4	FFU-50	AC・BCタイプ
5	5	1500×300	1	1650	450	73.5	1×1= 1	FFU65M	Cタイプ
合計FFU設置枚数				6 5 枚					

覆 蓋 仕 様

材質：ガラス長繊維強化硬質ウレタン樹脂発泡体（FFU）とする。

設計条件：設計荷重 $3.5\text{kN/m}^2$  または中央部 $1.0\text{kN/m}$ 枚のいずれか大きい荷重とする。

許容たわみ量  $L/200$  以下

組立：エポキシ系接着剤とステンレス製のスクリー釘及び木ねじを併用して組み立てる。

塗装：藁上面全面に砂付スベリ止め加工後、アクリルウレタン塗装を施す。

色調は、グリーン色 (K42-40H) とする。〔日本塗装工業会発行の塗料用標準色見本帳による〕  
(2.5G4/4) 〔マンセル値による〕

荷重表示「積載荷重3.5kN/m<sup>2</sup>」と黄色スプレーで表示のこと。

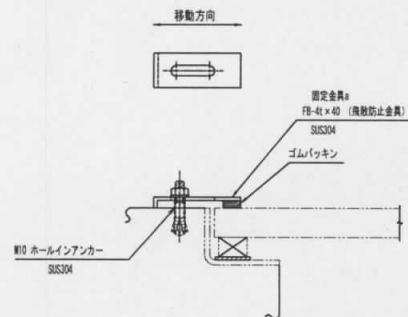
固定金具付とする。

2系反応タンク番号3受枠材料: L-40×40×3: SUS304・FB-4t×100L: SUS304

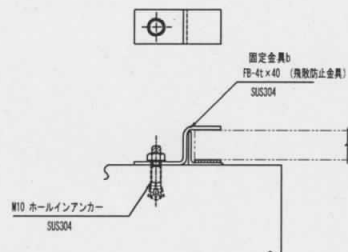
アンカー:M10 SUS304

## 2系反応タンク既設FRP蓋撤去工事

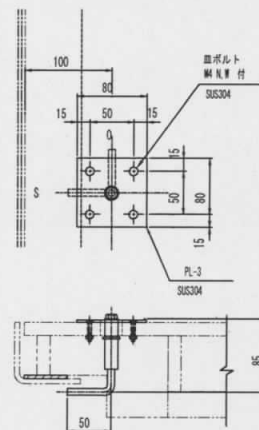
番号 1	600 × 1000 × @60 (寸法) × 12カ所
番号 2	1000 × 1000 × @60 (寸法) × 12カ所
番号 3	720 × 1510 × @60 (寸法) × 4カ所
番号 4	845 × 2345 × @80 (寸法) × 2カ所
番号 5	1500 × 300 × @60 (寸法) × 1カ所



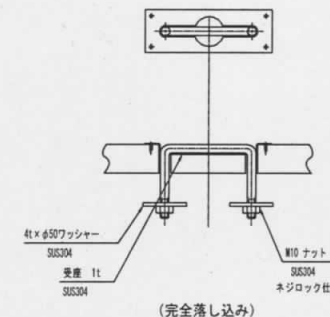
蓋番号 1・2・5 固定金具取付詳細図 S=1/3  
A・AC・BCタイプ蓋に取付



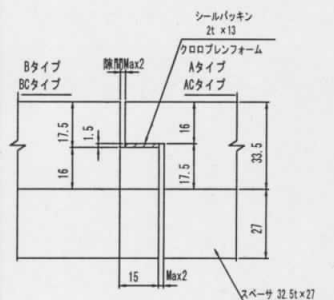
蓋番号 3 固定金具取付詳細図 S=1/3  
A・AC・BCタイプ蓋に取付



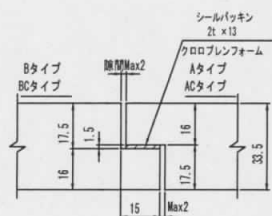
蓋番号 4 ロック金具取付詳細図 S=1/3



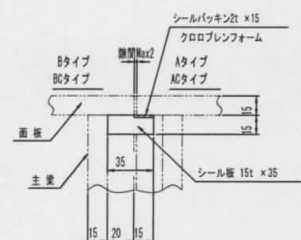
取手詳細図 S=1/3



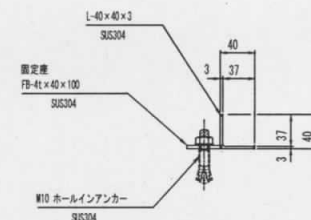
蓋番号 1・2 蓋間シール部詳細図 S=1/1



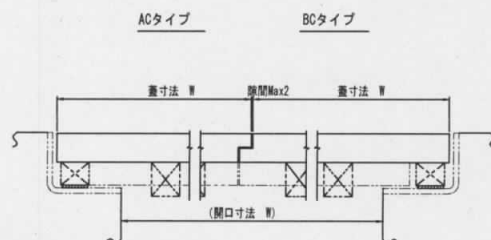
蓋番号 3 蓋間シール部詳細図 S=1/1



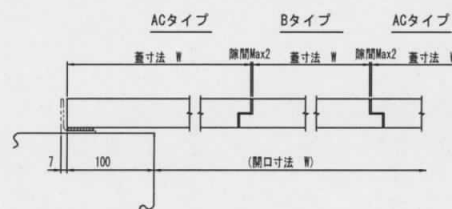
蓋番号 4 蓋間シール部詳細図 S=1/2



蓋番号 3 蓋受枠詳細図 S=1/3

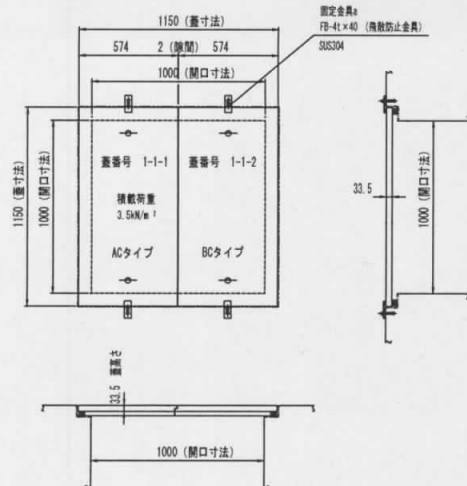


蓋番号 1・2 W方向断面図 S=1/3



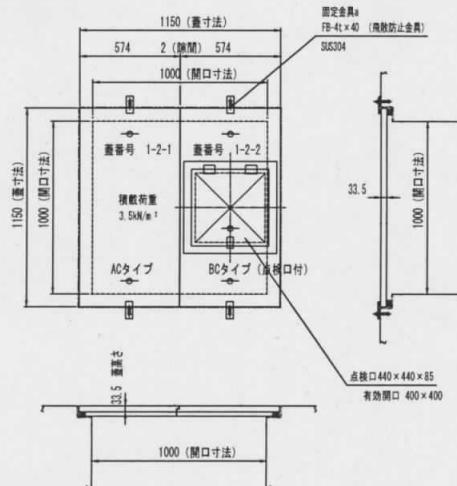
蓋番号 3 W方向断面図 S=1/3

ACタイプ・Aタイプ：シール板ナシ  
Bタイプ：シール板両側付  
BCタイプ：シール板片側付  
Cタイプ：シール板



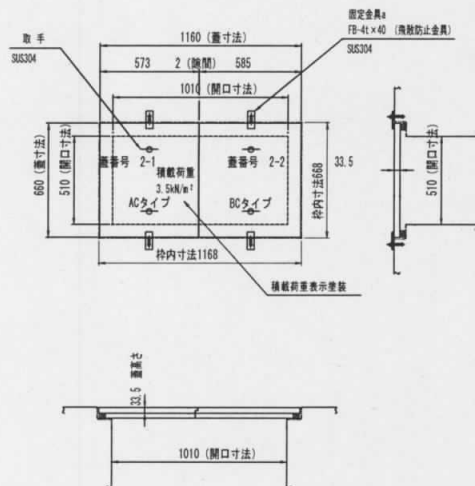
- 1-1-1 ACタイプ 574×1150×33.5 10枚  
1-1-2 BCタイプ 574×1150×33.5 10枚

蓋番号1-1 蓋割付図 S=1/15



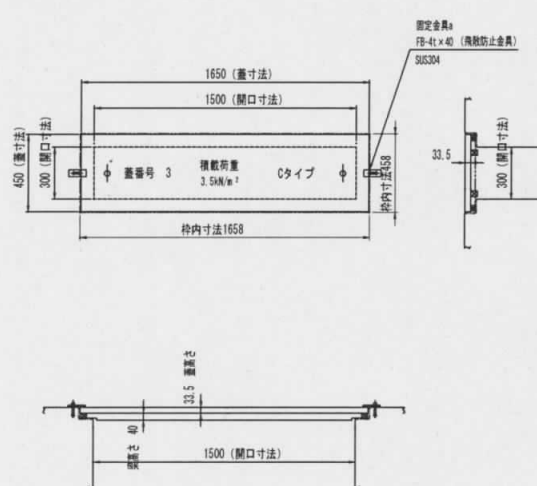
- 1-2-1 ACタイプ 574×1150×33.5 2枚  
1-2-2 BCタイプ 574×1150×33.5 2枚  
1-2-2 BCタイプは 440点検口付

蓋番号1-2 蓋割付図 S=1/15



- 2-1 ACタイプ 573×660×33.5 1枚  
2-2 BCタイプ 585×660×33.5 1枚

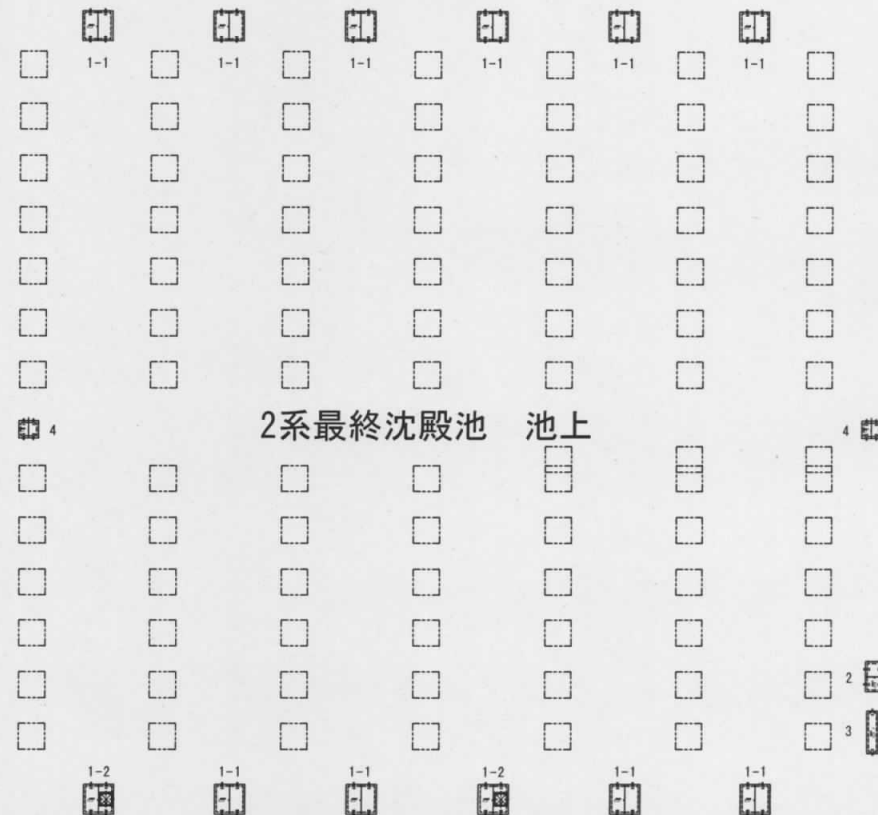
蓋番号 2 蓋割付図 S=1/15



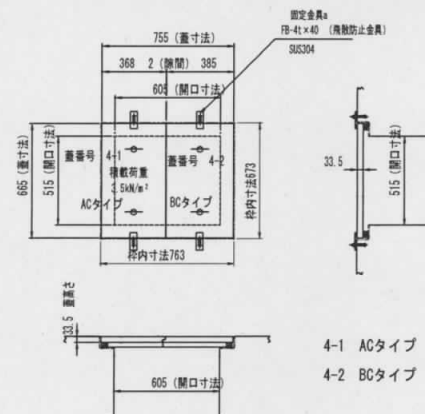
- 3 Cタイプ 1650×450×33.5 1枚

蓋番号 3 蓋割付図 S=1/15

## 2系池上電気室



## 2系最終沈殿池 池上

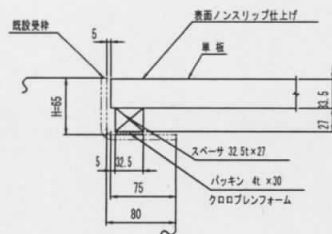


- 4-1 ACタイプ 368×665×33.5 2枚  
4-2 BCタイプ 385×665×33.5 2枚

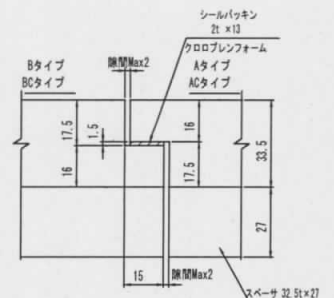
2系最終沈殿池蓋設置図 (配置)  
KEY PLAN S=1/100

蓋番号 4 蓋割付図 S=1/15

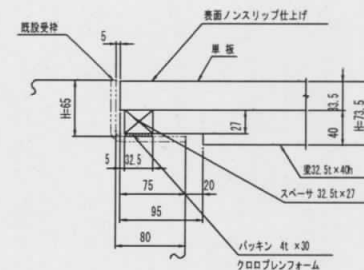




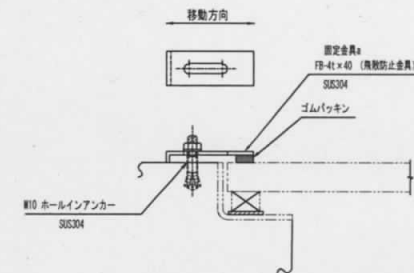
蓋番号 1-1・1-2・2・4  
蓋支持部詳細図 S=1/3



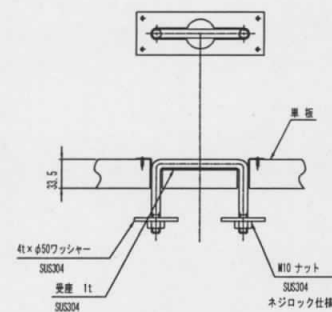
蓋番号 1-1・1-2・2・4  
蓋間シール部詳細図 S=1/1



蓋番号 3  
蓋支持部詳細図 S=1/3

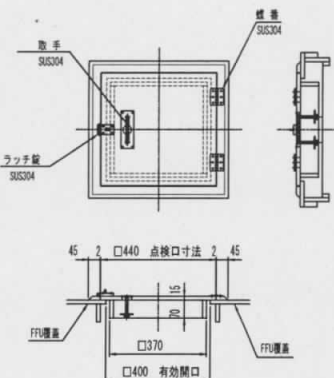


蓋番号 1-1・1-2・2・3・4  
固定金具取付詳細図 S=1/3  
A・AC・BCタイプ蓋に取付



(完全落し込み)

取手詳細図 S=1/3



点検口詳細図 S=1/10

BCタイプ用点検口 440□ 2枚 (蓋番号 1-2)

2系最終沈殿池 蓋寸法及び数量表

蓋番号	記 号	開口寸法	設置箇所数	長さ (L)	巾 (W)	高さ (H)	数量 (枚)	材 質	蓋種類
1-1	1-1-1	1000×1000	10	1150	574	33.5	10×1=10	FFUS9M	ACタイプ
	1-1-2			1150	574	33.5	10×1=10	FFUS9M	BCタイプ
1-2	1-2-1	1000×1000	2	1150	574	33.5	2×1=2	FFUS9M	ACタイプ
	1-2-2			1150	574	33.5	2×1=2	FFUS9M	BCタイプ・点検口付
2	2-1	510×1010	1	660	573	33.5	1×1=1	FFUS9M	ACタイプ
	2-2			660	585	33.5	1×1=1	FFUS9M	BCタイプ
3	3	1500×300	1	1650	450	73.5	1×1=1	FFU65M	Cタイプ
4	4-1	515×605	2	665	368	33.5	2×1=2	FFUS9M	ACタイプ
	4-2			665	385	33.5	2×1=2	FFUS9M	BCタイプ
合計FFU設置枚数				31枚					

ACタイプ：シール板ナシ  
BCタイプ：シール板両側付  
Cタイプ：シール板

#### 覆蓋仕様

材質：ガラス繊維強化硬質ウレタン樹脂発泡体（FFU）とする。

設計条件：設計荷重3.5kN/m<sup>2</sup>または中央部1.0kN/m<sup>2</sup>のいずれか大きい荷重とする。

許容たわみ量 L/200 以下

組立：エポキシ系接着剤とステンレス製のスクリーナード及び木ねじを併用して組み立てる。

塗装：蓋上面全面に砂付スベリ止め加工後、アクリルウレタン塗装を施す。

色調は、グリーン色（K42-40H）とする。（日本塗装工業会発行の塗料用標準色見本帳による）  
(2.5G4/4)（マンセル値による）

荷重表示「積載荷重3.5kN/m<sup>2</sup>」と黄色スプレーで表示のこと。

固定金具付とする。

#### 2系最終沈殿池既設FRP蓋撤去工事

蓋番号	1-1・1-2	1000×1000×φ60 (蓋寸法) ×12か所
蓋番号	2	510×1010×φ60 (蓋寸法) ×1か所
蓋番号	3	1500×300×φ60 (蓋寸法) ×1か所
蓋番号	4	515×605×φ60 (蓋寸法) ×2か所